



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	雑誌掲載論文の著作権
Author(s)	村山, 美月
Description	北海道大学メディア・コミュニケーション研究院FD研修. 令和2年2月21日. 北海道大学メディア棟407室. 札幌市.
Issue Date	2020-02-21
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/76798
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/
Type	learning object
File Information	20200221_HUSCAP.pdf

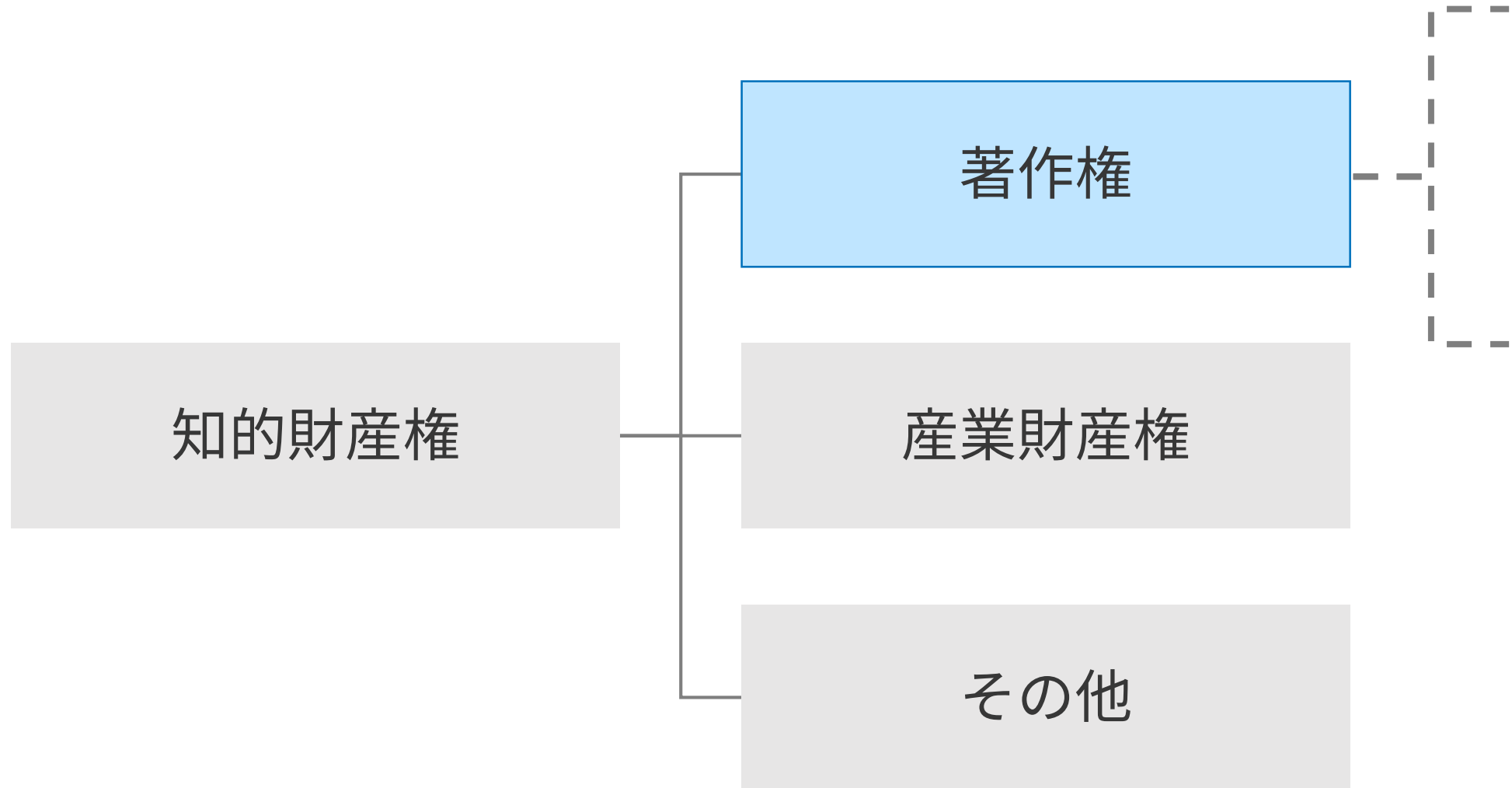


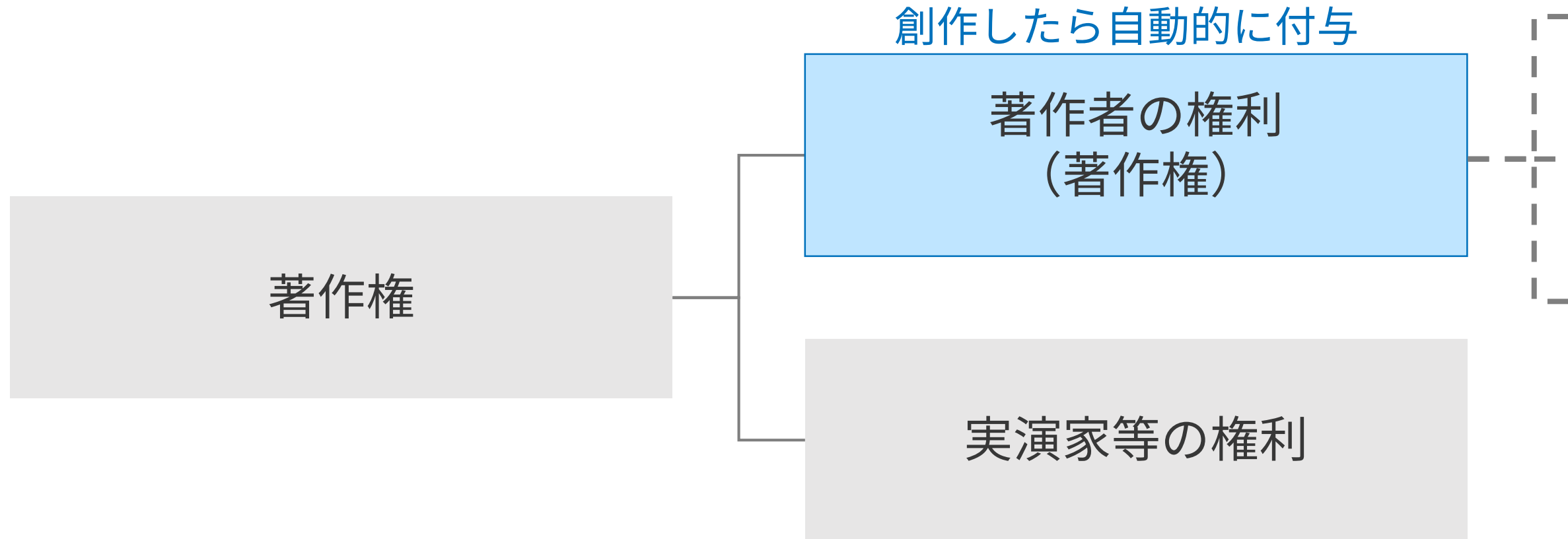
雑誌掲載論文の著作権

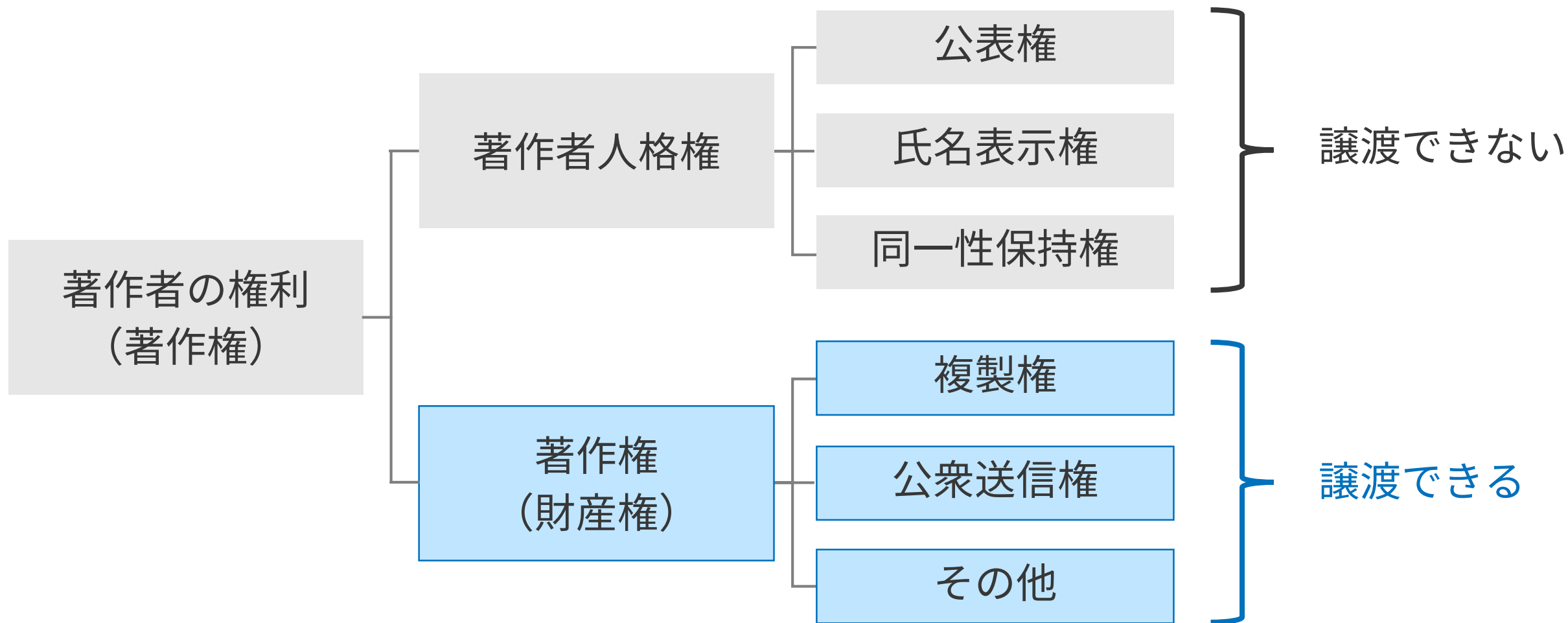
2020年2月21日 メディア・コミュニケーション研究院 FD研修
附属図書館研究支援課研究支援企画担当 村山美月

1. 著作権とは
2. 学術雑誌掲載論文の著作権
 - 著作権契約の確認方法
 - 著作権契約の事例
3. クリエイティブ・コモンズ・ライセンス
4. 引用の条件
5. 博士論文のインターネット公表
6. まとめ

1. 著作権とは
2. 学術雑誌掲載論文の著作権
 - 著作権契約の確認方法
 - 著作権契約の事例
3. クリエイティブ・コモンズ・ライセンス
4. 引用の条件
5. 博士論文のインターネット公表
6. まとめ

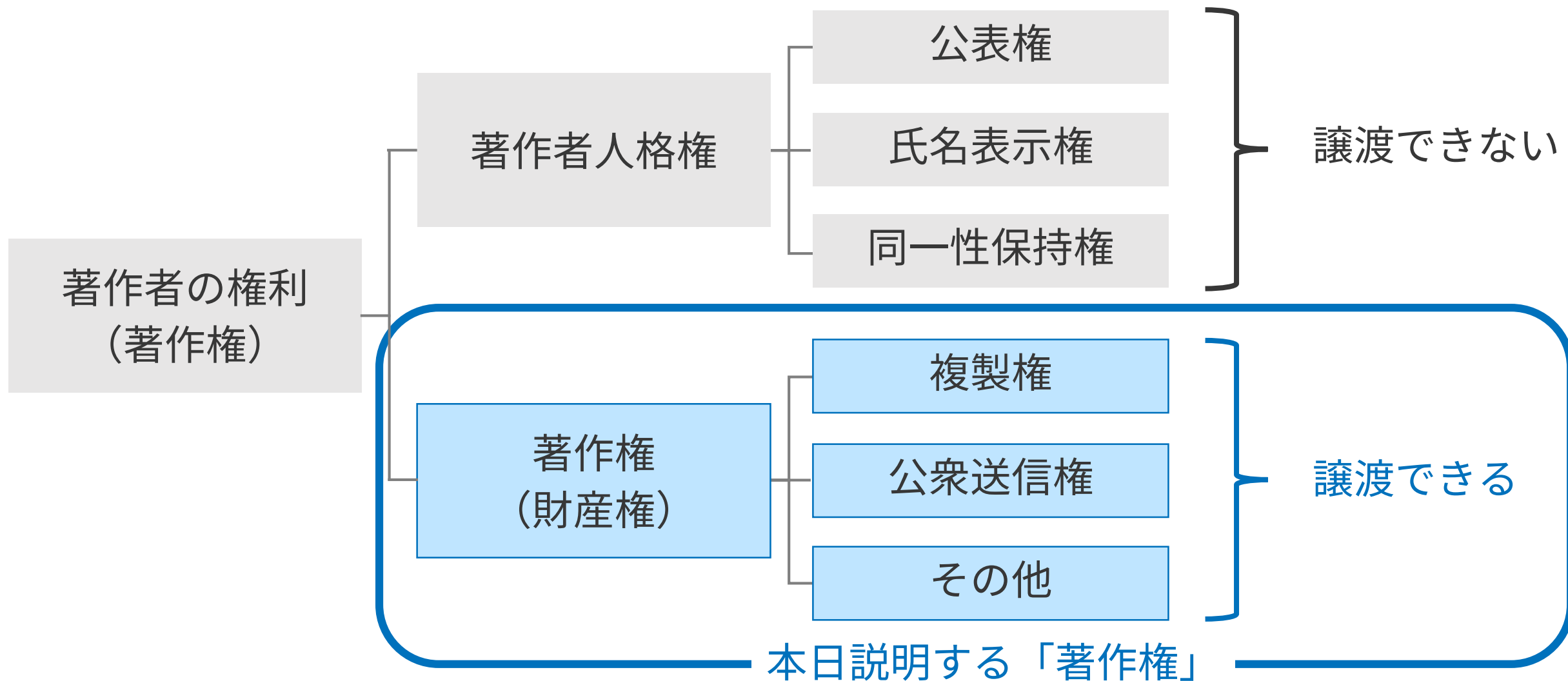






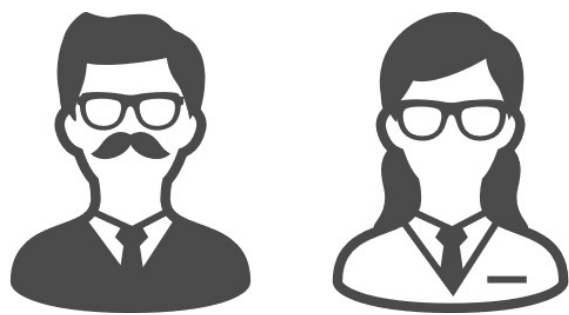
著作権とは

7



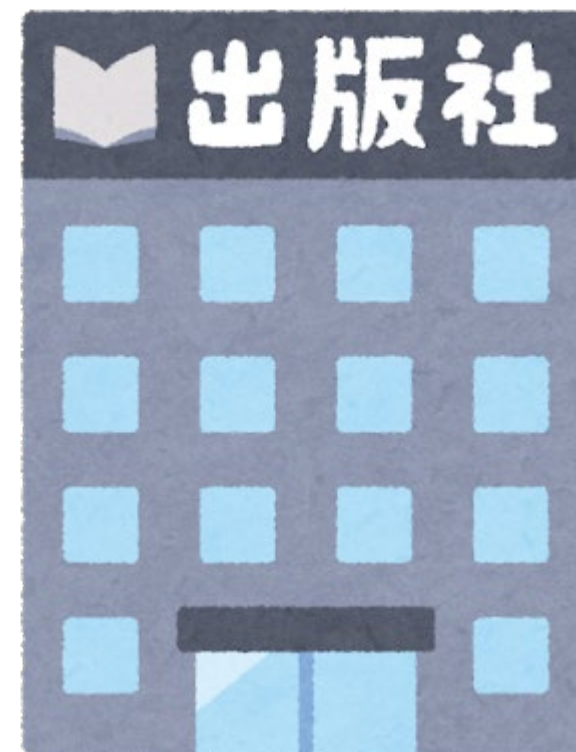
1. 著作権とは
2. 学術雑誌掲載論文の著作権
 - 著作権契約の確認方法
 - 著作権契約の事例
3. クリエイティブ・コモンズ・ライセンス
4. 引用の条件
5. 博士論文のインターネット公表
6. まとめ

出版にあたり、著者から出版者へ著作権が譲渡されることが多い



著者

著作権



論文を書いた人  著作権を
行使できる人

イコールとは限らない

自著論文でも、転載・再利用する場合は **著作権契約を確認**

1

著作権譲渡契約書
Copyright transfer agreement

2

投稿規定

3

出版者のウェブサイト

4

出版者に問い合わせる

定めがない場合には、原則どおり = 著作権は著者にある

- A** 出版者に譲渡
- B** 出版者に譲渡するが、一定の条件で利用できる
- C** 著者が保持

1. 著作権とは
2. 学術雑誌掲載論文の著作権
 - 著作権契約の確認方法
 - 著作権契約の事例
3. クリエイティブ・コモンズ・ライセンス
4. 引用の条件
5. 博士論文のインターネット公表
6. まとめ

作品を公開する作者が

「この条件を守れば私の作品を自由に使って構いません」

という意思表示をするためのツール



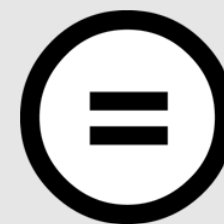
表示

作品のクレジットを
表示すること



継承

もとの作品と同じ
組合せのCCライセンス
で公開すること



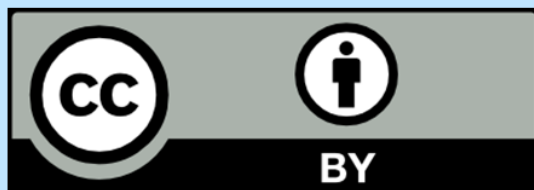
改変禁止

元の作品を
改変しないこと



表示

作品のクレジットを
表示すること



表示



表示 - 継承



表示 - 改変禁止



非営利

営利目的での
利用をしないこと



表示 - 非営利



表示 - 非営利 - 継承



表示 - 非営利 - 改変禁止

1. 著作権とは
2. 学術雑誌掲載論文の著作権
 - 著作権契約の確認方法
 - 著作権契約の事例
3. クリエイティブ・コモンズ・ライセンス
4. 引用の条件
5. 博士論文のインターネット公表
6. まとめ

「引用」の条件

- すでに 公表されている
- 引用を行う 必然性 がある
- カギ括弧などにより、引用部分が明確 になっている
- 目的上、正当な範囲内である
 - 引用とそれ以外の部分の 主従関係が明確
 - 分量が 必要最小限度 の範囲内
- 出所の明示 が必要

1. 著作権とは
2. 学術雑誌掲載論文の著作権
 - 著作権契約の確認方法
 - 著作権契約の事例
3. クリエイティブ・コモンズ・ライセンス
4. 引用の条件
5. 博士論文のインターネット公表
6. まとめ

- 平成25年に学位規則の一部が改訂され、
原則インターネット公表することに
- 北大では、HUSCAPで公表
- 権利関係の確認を学位申請者が行う
- 附属図書館では相談窓口として、ホットラインを開設

- Q. 学術雑誌掲載論文の全部、または一部を博士論文に使用しているが、インターネット公表にあたり問題はないか
- Q. 博士論文の内容を雑誌に投稿する予定だがどうすればよいか
- Q. 博士論文をインターネット公表できない場合はどうすればよいか

Q. 雑誌掲載論文の全部、 または一部を博論に使用している

A.

雑誌掲載論文は、著作権を出版者に譲渡していることが多い



- 出版者の著作権ポリシーを確認する
 - 博論に使用してよいか
 - インターネット公表が可能か
- 共著者がいる場合は共著者全員の了解をとる

Q. 博論の内容を雑誌に投稿する予定

22

A.

- 投稿予定の雑誌の投稿規程を見て
多重投稿の規程に抵触しないかを確認
- 機関リポジトリで公表した論文の投稿を禁じている場合、
インターネット公表できない「やむをえない事由」として申請

Q. 博論をインターネット公表できない

23

A.

- やむをえない事由がある場合、所属部局に申請→承認
- 博論の全文の代わりに要約を提出
- 公表できない事由が解消したら、報告・全文を公表

- 自著論文でも、転載・再利用する場合は 著作権契約を確認
- CTA・投稿規定・出版者サイトを見て、記載がなければ問合せ
- クリエイティブ・コモンズがついていたり、
引用の範囲内なら許諾なしで利用できる
- 博論の権利関係でわからないことは相談ホットラインへ

- 文化庁著作権課. 著作権テキスト2019年度
https://www.bunka.go.jp/seisaku/chosakuken/seidokaisetsu/pdf/r1392388_01.pdf
- 長谷川世一. “日本におけるクリエイティブ・コモンズ・ライセンスの実
際” 情報管理. 2015, Vol.58, No.5, pp.343-352
<https://doi.org/10.1241/johokanri.58.343>
- 北海道大学附属図書館. “著作権概論”北海道地区機関リポジトリ実務担当
者研修 <http://hdl.handle.net/2115/63901>

- 情報文化学会. 情報文化学会誌投稿規定

<http://jouhou-bunka.jp/wordpress/wp-content/uploads/2014/11/1841faba05a72605c7a8aefada323977.pdf>
(2020/2/5閲覧)

- 北海道大学CoSTEP. Japanese Journal Science Communication投稿規定

http://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/jjsc/contribution_rule.php (2020/2/5閲覧)

- コンテンツ文化史学会. コンテンツ文化史研究投稿規定

http://www.contentshistory.org/journal/contribution_rule/ (2020/2/5閲覧)

- SAGE. Social Media + Society Manuscript Submission Guidelines

<https://journals.sagepub.com/author-instructions/SMS#OpenAccess> (2020/2/5閲覧)

- SAGE Open Access FAQs

<https://uk.sagepub.com/en-gb/asi/faqs> (2020/2/5閲覧)

お問い合わせはこちらまで



js@lib.hokudai.ac.jp



011-706-4025